

2020年11月14日発表

現代韓国語の引用構文に おける「依存名詞」

ー引用標識としての機能の分析からー

立命館アジア太平洋大学
金納爰

本研究の目的

文法化研究(Hopper and Traugott2003)の知見を援用して引用構文に用いられている韓国語の依存名詞(形式名詞)の機能拡張の実態と特徴を解明

目次

1. はじめに
2. 先行研究
3. 研究方法
4. 依存名詞식(sik)と引用構文
5. 依存名詞등(twung)と引用構文
6. 依存名詞양(yang)と引用構文
7. 日本語との対照
8. 引用構文における依存名詞
9. おわりに

1.はじめに

＜研究の背景＞

● 韓国語の依存名詞

韓国の文法研究の中で生産的に研究されてきた分野(Ahn2012)

→特に近年多くの研究では

自立的な名詞→文法化・機能語化の現象を扱っている

→前後する要素と結合して一定の統語的機能を果たすため

統合的構成を観察し、特徴と機能进行分析する必要がある(Ahn2006)

1.はじめに

<研究の背景>

- 文法化・機能語化

→「語彙的意味を有する語(内容語)が文法的な意味を表す形式に変化するプロセスを表す」

(堀江2005)

-Hopper(1991)

-Hopper and Traugott(2003)

-Rhee(1998)

1. はじめに

<研究背景>

● 韓国語の引用構文

典型的な引用標識「-ko, -lako」が縮約、省略された文や非典型的な引用標識を使用している構文の研究が少ない

(Kim 2002)

→さらに多様な引用構文の研究が求められる

1. はじめに

<研究背景>

- 日本語の引用構文(非典型的な引用構文)

- 日本語の「類似引用」(メイナード2002)

- 引用マーカー(標識)「**みたいな**」「**的(な)**」「**系(の)**」など

- 発話内容との距離感を確保

- 好ましくない意見を述べる際にも用いられる

2. 先行研究

<名詞の意味・機能の変化を文法化の観点から研究>

- 名詞の文法化(Ahn1997)
- 依存名詞と補助動詞の文法化(Kwon1996)
- 依存名詞の意味と文法化(Ahn2014)
- 日本語の「Noda」韓国語「Kes-ita」の対照研究
(Kim and Horie2009)
- 漢字語の依存名詞とハングル固有語(Lee2004)

2. 先行研究

＜韓国語の引用文の研究＞

- 引用文と引用標識の文法化(Ahn2003)
- 引用構文標識の研究(Kim2004)
- 韓国語引用構文の語用論的研究(Cho2018)
- 韓国語の直接引用構文の研究(Pang2017)
- 韓国語の自己引用構文の研究(Park2014)
- 韓国語の日本語の引用文の対照研究(Lee2003)

2. 先行研究

<韓国語依存名詞の分布と意味機能の分析> (Woo2006)

→ 依存名詞は抽象的な意味を持っているため
文法的な機能を実現する

→ deictic、anaphoric、modality、tense-aspectを表す
機能を果たす

* 多様な機能を有するのは韓国語依存名詞独特な特徴

2. 先行研究

堀江(2009)

日本語の形式名詞「の」「もの」「こと」「ところ」と
韓国語の依存名詞「kes」「tey」の対照研究

→ 上述の研究対象に関し、文法化(機能拡張)の度合いに差があり、「日韓の形式名詞(依存名詞)」が語彙的な意味を有する名詞から機能語に転じる過程には平行性が見られる(p.45)

3. 研究方法

＜コーパス分析＞

- 韓国語: Li min Corpus (韓国ドラマ・映画)
Korean National Corpus (小説、新聞などの出版物)
 - 日本語: 現代日本語の書き言葉コーパス
- ① 引用構文に用いられた依存名詞「식(sik)」、「둥(twung)」、「양(yang)」のトークン分析
 - ② 日本語との対照: 引用構文に用いられた「ふう」などとの対照分析

4-1.依存名詞식(sik)について

<自立名詞>としての식(sik)

->漢語「式」を基盤とする自立的な名詞として「結婚式」「葬式」のような「儀式的な催し」を表す

(1)Sik-ul kehayngha-keyss-uni naypin yelep-wun-un
式-を 挙行する-未来-連結語尾 来賓 皆様-は

chali-e anca cwusiki palapnita.

席-二 座る-願う-敬語-終結語尾

「式を挙行いたしますので来賓の皆様、お席にお着き願います。」

(Web『国立国語院標準国語大辞典』, 下線、日本語訳は筆者(以下同様))

4-1. 依存名詞식(sik)について

「식(sik)」の変化

→20世紀になってからは「儀式」だけではなく「方式」の意味を持ち使用される

(2) kwusup-un ilpyenphyeyciha-ko sinsik-ul

旧習 -は 辺廃止する-連結語尾 新式-を

mopangha-ye sinhonsik-ul kehaynghan-ta.

模倣する-連結語尾 新婚禮 -を 挙行する-終結語尾

「旧習は全部廃止して新式を模倣し、新婚禮を挙行する。」

(崔瓚植『秋月色』)

4-1.依存名詞식(sik)について

<現代韓国語>における식(sik)

→「一定の方式やスタイル」を示す

(3) Nakamura, Yong-Jae-uy mwutem ap-ey mwulpkkwulh-ko **ilponsik** ulo
中村、 名前-の 墓 前-に 膝を屈する-て **日本式** に

Celtoisskey kokay-lul sey pen coali-mye sacoyha-n-ta.
節度ある 首-を 三 回 ぬかずく-ながら 謝罪-現在-終結語尾

「中村、ヨンゼの墓の前で膝を屈して日本式に節度ある行動で、首を三回ぬかずにながら謝罪する。」
(Li min Corpus)

4-1. 依存名詞식(sik)について

<依存名詞>としての식(sik)

→「述語＋連体修飾語尾(nun)＋sik」構文で使用

(4) Paponya? Yanswun:(palkkun-hayse chyetapota-ka
バカか? 名前 (イラっとして 見つめる－助詞

mal-ul malcha-nun sik-ulo oymyenha-n-ta).
話-を やめる-連体形語尾 式-に 目を背ける-過去終結語尾)

「バカか? ヤンスン:(かっとして見つめては、もう言葉も交わしたくないというふうに目を背ける。)」

(Li min Corpus)

4-2.依存名詞식(sik)と引用構文

＜調査の結果＞

「述語＋連体形語尾nun+sik」の形式で用いられたトークン
＝131個の中

- 71個＝第三者（登場人物）の行動や感情を客観的に描写
- 60個＝話者が直接経験した他者（二人称や三人称）の発言、行動を「類似引用」的に表現

4-2. 依存名詞式(sik)の機能拡張

話者が直接経験した**特定の他者**(二人称や三人称)の発言、行動を「**類似引用**」的表現

(5) caki-ka calmoshay-noa-ko-to moksoli ku-myen

自分ーが 謝るー置くー連結ーも 声 大きいー語尾

iki-n-ta-n

sik-ulo

makmukanay-i-n

勝つー現在ー終結ー連体形語尾

式ーに

かたくなーであるー現在

salamtul kkok iss-te-laku-yo.

人たち 必ず いるー経験語尾ー助詞ー終結語尾

「自分が誤っておいて、声が大きかったら勝つというふうに頑なな人たち、必ずいるよね。」 (Li min Corpus)

4-2. 依存名詞식(sik)の機能拡張

不特定多数の意見を引用している場合

(6) kulena kwayen wuli-ka kkwum-ul phokihayse-nun an

しかし はたして 私たち-が 夢-を 諦める-連体語尾 否定

toy-n-ta-nun sik-ulo cwuinkong-ul swepkey

できる-現在-連体形語尾 式-に 主人公-を 簡単に

pinanha-l swu issu-lkka?

避難する-未来 こと ある-未来-疑問

「しかし、はたして私たちが夢を諦めちゃダメだめだというふうに主人公を簡単に避難できるだろうか？」 (Li min Corpus)

4-3. 依存名詞식(sik)の機能拡張

＜調査の結果＞

「類似引用」的表現 = 60個の中

식(sik)を基準に前後の述語の部分に

① 否定的な叙述表現使用 = 54個

(例: 追い詰める、気に入らない、気持ち悪い、よそ見する、言いはやす など)

② 中立的な表現使用 = 6個

(例: 話す、聞く、燥ぐ、見るなど)

4-3. 依存名詞式(sik)の機能拡張

話者の**否定的な判断**を表現

(7) ne, nul hyeyswu-hantey nika te
お前 いつも 名前-に お前-が もっと

manh-i chamnunta-nun sik-ulo hanun ke
沢山-連結 我慢する-連体形語尾 式-に する こと

cincca mam-e an tulesse…
本当に 気-に 否定 いる-過去-終結語尾

「お前、いつもヘスにお前の方がもっと我慢しているというふうにするのが本当に気に入らなかった。」 (Li min Corpus)

4-3. 依存名詞식(sik)の機能拡張

＜考察＞引用構文における依存名詞식(sik)

先接(例:我慢する) + sik + 後接(例:気に入らない)



話者の否定的な判断が表現される

依存名詞「sik」は、特に否定的な含みを持っていないが
「類似引用」的表現として他者の発言、言動を模倣して表現する機能を発達させており、対象に対する話者の否定的評価を含む態度(例:からかい、嘲り)を表出しやすい傾向があると思われる

4-3. 依存名詞식 (sik)の機能拡張

- 「類似会話修飾節」とは

- 統辞的には直接引用のように会話が挿入

- 概念的には間接引用の特徴を持っている

(Chae2011)

- 「類似引用文」とは

- 声の多重性、複数の場の導入、臨場感の実現、複数の視点

(メイナード2008)

5-1. 依存名詞등(twung)について

<依存名詞등<twung>の変化> (Jung2019)

→20世紀初期から間接引用構文に用いられる

(8) Chengim-I oysamchon-un ile-n iyaki-lul pam-I toytolok hata-ka
名前-が おじさん-は こんな 話-を 夜-が なる する-が

Ka-ss-nun-ti ku hwu-lo-nun sinlang-uy sen-ul
行く-過去-連結語尾 その 後-から-は 新郎-の お見合い-を

Po-n ta-nun twung sacwu-lul pat-nun ta -nun twung ha-te-ni
見る-連体形語尾 やら 運勢-を もらう-連体形語尾 やら する-連結語尾

「チョンイムのおじさんは夜おそくまでこんな話をして行ったが、その後からは新郎をお見合いをするやら運勢をもらうやらして」(崔瓚植『秋月色』)

5-1. 依存名詞ㄱ(twung)について

<現代韓国語における依存名詞ㄱ(twung)>

●「接続語尾(un,nun,ul) + ㄱ(twung)」

→ある事をするような、しないようなことを表す

(9)elkwul-ul po-n twung ma-n twung kunyang cinaka-n-ta
顔-を 見る-接続語尾 やら みない やら そのまま 素通る

「顔をみてるのかみてないのかそのまま素通りする」

(Web『国立国語院標準国語大辞典』)

5-1. 依存名詞등(twung)について

<引用構文に用いられる依存名詞등(twung)>

- 「連体形語尾 + 등(twung)」

→連体形語尾の後についてなにか理屈、理由などが多いことを表す

(10)ku-nun pang-I chwupta-nun twung kencohata-nun twung
彼-は 部屋-が 寒い-連体形語尾 とか 乾燥している-連体形語尾 とか

pulman-I manh-ass-ta
不満-が 多い-過去-終結語尾

「彼は部屋が寒いとか乾燥しているとか不満が多かった」

(Web『国立国語院標準国語大辞典』)

5-1. 依存名詞둥(twung)について

<依存名詞둥(twung)の意味・機能について>

Ahn(1997)は批判、Wang(1988)は疑わしいなど、主に否定の意味を表と記述

一方、Jung(2019)は多くが否定的な場面に用いられるが、肯定的な場面に使用される場合もあると記述

(11) wuli-nun kakki hanjan-ssik mekko pyel-ul parapo-mye
私たち-は それぞれ 一杯-接詞 食べて 星-を 眺める-ながら

Peyl-tul-I yepputa-nun twung ilen sikol-se-nun pyel-I
星-複数-が 綺麗だ-連体形語尾 とか こんな 田舎-で-は 星-が

Tal-mankum kh-e poi-n-ta nun twung hay-ss-ta
月-ぐらい 大きい-接続詞 見える-連体形語尾 とか する-過去-終結語尾

「私たちはそれぞれ一杯ずつ飲んで星を見上げながら星がきれいとかこんな田舎では月なみに大きく見えるとか言った」
(SeJong Corpus -Jung2019 p135再引用)

5-2. 依存名詞^ㄷ(twung)と引用構文

<調査の結果>

「述語＋連体形語尾nun+^ㄷ(twung)」の形式で用いられたトークン

Li min Corpus

450 個の中 ①281個＝第3者(登場人物)の言動を描写

②169個＝2、3人称の言動を引用形式で表現

Korean National Corpus

92個の中 ①32個＝第3者の言動を描写

②60個＝2、3人称の言動を引用形式で表現

5-3. 依存名詞등(twung)の機能拡張

特定の2、3人称の言動を引用形式で表現

(12)tangsin cengsin chal-ye yo. Saphyo-lul ssu-n-ta nun twung,
あなた しっかりする-終結語尾 辞表-を 書く-連体形語尾 とか、

Mal-to an-toy-nun soli kumanh-ay yo.
話-も 否定-なる-連体形語尾 音 やめる-終結語尾

「あなた、ちゃんとして。辞表出すとか、話にもならないこと言わないで。」(Li min Corpus)

5-3. 依存名詞등(twung)の機能拡張

不特定多数の言動を引用形式で表現する場合

(13)maysukem-eyes swunswyuha-n salang-I-ra nun twung swunaypora-nun twung
マス込み-で 純粹-連体形語尾 愛-だ 連体形語尾 とか 純愛だ-連体形語尾 とか

Emcheng ttetuletay-ss-ess-nuntey, sswuksulep-ki-to ha-ke-ss-ci.
すごく 騒ぐ-過去-連結語尾、 照れる-名詞化接詞-も する-推測-過去-終結語尾

「マスコミで純粹な愛だとか、純愛だとかすごく騒いでたから、照れくさいだろう」(Li min Corpus)

5-3. 依存名詞뒹(twung)の機能拡張

<考察>

- 「先接(例:問題を起こす)+뒹(twung)+後接(例:気に障る)」

引用構文に用いられる依存名詞뒹(twung)は、식(sik)とは異なり

①主に他者の言葉の方を引用形式で表現

②中立・肯定的な話者の判断を表現：不特定人物の言葉引用の場合

(例:話がある、褒める、話が聞こえる、噂がある、聞き始める、照れるなど)

6-1. 依存名詞양(yang)について

<現代韓国語における依存名詞양(yang)>

- 「連体形語尾(in, n, nun, l, lul)+양(yang)」

→ある事、人の模様や行動をしている様子を表す

(14)ku-nun kamki-lato kelli-n yang

simhakey kichim-ul thohay nay-n-ta

彼-は 風-でも 引く-連体形語尾-ように 酷く 咳-を 吐く 出す-終結語尾

「彼は風邪でも引いたようにひどく咳を吐き出す」(Web『国立国語院標準国語大辞典』)

6-1. 依存名詞양(yang)について

- 「連体形語尾(nun)+양(yang)」

(15)ne-lul cohaha-nun yang chancel-ul beyphul-ko iss-u-na
お前-を **好き-連体形語尾-ように** 親切-を 施す-連結語尾 いる-逆接

Kukey ta soksem-I iss-e se-ya.

それが 皆 底意-が ある-から-終結語尾

「お前のことが好きでもあるように親切にしてるけど、それ全部底意があるからだよ」

(Web『国立国語院標準国語大辞典』)

6-2. 依存名詞양(yang)と引用構文

<調査結果>

「述語＋連体形語尾nun+양(yang)」の形式で用いられたトークン

Li min Corpus

163個の中 ①106個=第3者(登場人物)の様子(模様)を描写

②57個=2, 3人称の言動を引用形式で表現

Korean National Corpus

74個の中 ①22個=第3者(登場人物)の様子(模様)を描写

②52個=2, 3人称の言動を引用形式で表現

6-3. 依存名詞양(yang)の機能拡張

第3者(登場人物)の様子(模様)を描写

(16) ancelpwucel mosha-n phyoceng-ulo motwu- ekey caki
居ても立っても居られない-連体形語尾 表情-で 皆-に 自分

Calmos-in yang sakwaha-mye hyeyseng twi-lul ttalaka-lyo-nuntey
誤り-連体形語尾 ように 謝る-ながら ヘソん 後-を ついていく-意図-連結語尾

「居ても立っても居られない表情で皆に自分の誤りであるかのように謝りながらヘソんの後を付いて行こうとするが」
(Li min Corpus)

6-3. 依存名詞양(yang)の機能拡張

2, 3人称の言動を引用形式で表現

(17) Salam-ul kulehkey mantul-ko ilehkey tansin-tul-I phihaycai-n yang
人-を あんなに 作る-連結語尾 こんなに あなた-複数-が 被害者-連体形語尾 ように

Ttetu-nun ke wusupta-ko sayngkakhay-yo.
騒ぐ-連体形語尾 こと おかしい-連結語尾 思う-終結語尾

「人をこうしといてあなたたちが被害者でもあるように騒ぐのおかしいと思います」(Li min Corpus)

6-3. 依存名詞양(yang)の機能拡張

不特定多数の言動を引用形式で表現

(18)kulen hankwuk mwunin-un wenlay manhci anh-ass-ko 'sosimin uysik'-ul
そんな 韓国 文人-は もともと 少ない-否定-過去-連結語尾 `小市民意識'-を

Koyngcangha-n tekmoki-n yang nayseywu-ten soli-to
素晴らしい-連体形語尾 徳目-連体形語尾 よう 掛ける-経験 音-も

yocum-un camcamhay-che-ss-ciman…
最近-は 静かだ-なる-過去-けど…

「そんな韓国の文人は元々少なく、`小市民意識`を素晴らしい徳目でもあるようにしていた話も最近はあるけど…」 (Korean National Corpus)

6-3. 依存名詞양(yang)の機能拡張

＜考察＞引用構文における依存名詞양(yang)

「先接(名詞-例:被害者、)+ 양(yang)+ 後接(例:騒ぐ)」

引用構文に用いられる依存名詞양(yang)は、식(sik)と등(twung)とは異なり

- ①他者の行動の模様を描写したり、会話体で引用文に導入される
- ②不特定多数の言動に対する話者の否定的な判断を表す際に用いられる傾向
- ③人間以外のものがあたかも何かを言ったように表現する例も観察されている

7-1. 非典型的な引用標識

「ta nun」≠「ta-ko ha-nun」(Kim2004)

(19)na-nun kunye-ka mom-I yakhay cacwu ssuleci-n-ta nun sayngkak-I
私-は 彼女-が 体-が 弱い よく 倒れる-現在-連体形語尾 思い-が

tule-ss-ta.

する-過去-終結語尾

「私は彼女の体が弱くて頻繁に倒れるという思いがした。」 Kim(2004: 169)

(20)?na-nun kunye-ka mom-I yakhay cacwu ssuleci-n-ta -ko ha-nun
私-は 彼女-が 体-が 弱い よく 倒れる-現在-終結-間接引用-連体修飾

sayngkak-I tule-ss-ta.

思い-が する-過去-終結語尾

「?私は彼女の体が弱くて頻繁に倒れるのだという思いがした。」 Kim(2004: 169)

7-1. 非典型的な引用標識

<引用標識としての依存名詞식(sik), 등(twung), 양(yang)>

アンケート調査(予備調査)

対象:韓国語母語話者(20~30代)20人

<質問>二つの文章を見て教えてください。(実際はすべて韓国語)

「니가 더 참는다는 식으로 하는 거 마음에 안 들었어.」

(お前の方がもっと我慢するというふうにするの気に入らなかった)

「니가 더 참는다고 하는 거 마음에 안 들었어.」

(お前の方がもっと我慢するとするの気に入らなかった)

①二つとも同じ ②片方がもっと強い言葉遣い(番号:) ③片方が丸い話し方(番号:)

7-1. 非典型的な引用標識

＜アンケート調査の結果＞

三つの例文に対し、

→①番を選択した回数:7回

→②番を選択した回数:53回

→③番を選択した回数:0回

* 韓国語の引用形式、特に식(sik)という依存名詞が入った類似引用構文は日本語の類似引用構文(メイナード2004)とは異なる機能を果たしていると思われる。

7-2. 引用構文における依存名詞

<考察> 現代韓国語の依存名詞「식(sik)」「등(twung)」「양(yang)」

- 非典型的な引用標識として引用構文に用いられる
- 他者の言動に対する話者の否定的な判断を表す際に用いられる
- 被引用対象の条件が異なる
 - 被引用の対象(2人称、3人称、不特定多数)
- 各依存名詞が使用される引用構文で表す話者の判断(否定的、肯定的、中立的)に差がある

7-2. 引用構文における依存名詞

<依存名詞の意味機能と引用文>

식(sik), 둥(twung), 양(yang)と同じく描写の機能を持つ
체(chey), 품(phwum)は引用文に使用されている例は見当たらない

→他人の行動や言葉、考えを描写するという引用構文の特徴により、
該当の依存名詞が引用標識として用いられる

→単純に他者の行動を描写する文のみに使用されるか、

話者により再現される「引用構文」に用いられるかには差があると思われる

8-1. 日本語との対照(「ふう」構文)

「引用標識(と・ていう)+ふう」

→2、3人称の言動を表現

(21) 畠山-さんは太っ-たら声-もかえって良くなった
というふうにおっしゃっていますね。

「現代日本語の書き言葉コーパス」

8-1. 日本語との対照(「ふう」構文)

「引用標識(と・ていう)+ふう」

→話者自身の思いを引用

(22)私はもうあの子のことは戦争で死んだのだ

というふうに考え、思い出さないことにしております。

「現代日本語の書き言葉コーパス」

8-1. 日本語との対照(「ふう」構文)

「引用標識(と・ていう)+ふう」

→不特定多数の言動を引用

(23)直接体験の豊かさがなくなった今の子供はいかに

不幸かというふうにおっしゃる人がいる

「現代日本語の書き言葉コーパス」

8-2. 日本語との対照(非典型的な標識)

<類似会話修飾節> (メイナード2004)

- 被典型的な引用標識「みたいな」「的(な)」「系(の)」

しかしヨン様がやっているよ~みたいな表示は一切ない。

写真もプロマイドも、ましてやお土産コーナーなんて皆無。

『週刊朝日』(メイナード2004 p78-再引用)

8-2. 日本語との対照(非典型的な標識)

<類似会話修飾節> (メイナード2004)

- 被典型的な引用標識「みたいな」「的(な)」「系(の)」

「てか、『見返り美人』よくね?」「発行枚数レアレアっしょ」

的な話で盛り上がるギャル、いるのか、とちょっと思うが

『週刊朝日』(メイナード2004 p79-再引用)

8-2. 日本語との対照(非典型的な標識)

<類似会話修飾節> (メイナード2004)

- 被典型的な引用標識「みたいな」「的(な)」「系(の)」

理性がちらつき、恥じらいを感じ、まじでやっちゃって
いいのかよ？ **系**の根本的な疑問があふれ、そして、
涙を流して笑う女に恐怖する感じはじめているに違いなかった

『週刊朝日』(メイナード2004 p81-再引用)

9. おわりに

<日本語>

- 日本語は引用対象に制約が少ない(自己引用、特定、不特定多数など)
- 引用構文を用いることで事態との距離感をおける傾向がある(言い回し)

<韓国語>

- 韓国語は話者の否定的な判断を表現する際に用いられる
- 依存名詞を選択して用いることにより、批判の度合いの差を図る

ご清聴ありがとうございました

参考文献(一部)

Ahn, Ju-ho(2006)「현대 한국어 의존명사 목록에 대하여(現代韓國語の依存名詞の目録について)」『韓國語文學會』93:57-59

Chae, Sook-Hee(2010)「'이', '그' 계열 지시어의 인용표지적 성격에 대하여-i.ku kyeyyel cisieuy inyongpyocice k sengkyekey tayhaye-(こ, そ系列の指示語の引用標識的な性格について-)」
『형태론(形態論)』12:217-239

Chae, Sook-Hee(2011)「현대 한국어 인용구문 연구-hyentay hankwuke inyongkwumwun -yengkwi(現代韓國語の引用構文研究)」『ソウル大學博士論文』

Hopper, Paul J. &Elizabeth Closs Traugott. (2003) *Grammaticalization*. Cambridge: Cambridge University Press

堀江 薫(2008)『言語のタイポロジー』研究者

Jung, Hye-sun(2019)「의존명사 ‘등의 변천과 문법 기능 변화(依存名詞등(twung)の変遷と文法機能の変化)」『韓民族語文學會』83:133-157

Kim, Jong-Hyun(2000)「유사 인용문의 발화 효과와 화자의 태도-yusa inyongmwnuy palhwa hyokwawa hwacaury tayto-(類似引用文の発話の効果と話者の態度)」『언어학(言語学)』26:75-103

Kim, Seon-Hyo(2004)「인용구문 ‘다고 하는’과 ‘다는’의 특성-inyong kwumwun ‘ta-ko ha-nun’ kwa ‘ta nun’uy thuksung(引用構文 ‘ta-ko ha-nun’과 ‘ta nun’의特徵)」『한국어학회(韓國語學會)』40:161-176

Lee, Sun Wung(2004)「未知의 한자어 의존명사에 대하여(On Convert Shino-Korean Dependent Nouns)」『형태론학회(形態論學會)』6.2:251-276

メイナード・泉子・K(2004)『談話言語学-日本語のディスコースを創造する構成・レトリック・ストラテジーの研究』くろしお出版

メイナード・恵子・K(2008)『マルチジャンル談話論』くろしお出版

Tannen D(1980). *Talking voices: Repetition, Dialogue, and Irony in Conversation of Discourse*. Cambridge: Cambridge University Press

参考文献(一部)

- Ahn, Ju-ho(1997)『한국어 명사의 문법화 현상 연구(韓国語名詞の文法化現象研究)』한국문화사(韓国文化社)
- Ahn, Shin Hye(2014)「의존명사의 의미와 문법화(依存名詞の意味と文法化)」『겨레어문학회(キョレ語文学会)』 52:69-92
- Bang, Yu jung(2017)「한국어 직접인용 구문 연구-직접인용 표지를 중심으로-(韓国語の直接引用構文研究-直接引用標識を中心に-)연세대학교(延世大学)修士論文
- Cho, Jungmin(2018)「한국어 인용구문의 화용론적 연구-라디오 뉴스 인터뷰에 나타나는 인용구문을 중심으로(A pragmatic Study of Korean Quotative Constructions : Focused on Quotative Constructions in Radio News Interviews)」Ewa Womans University 博士論文
- 堀江 薫(2005)「日本語と韓国語の文法化の対照」『日本語の研究』 3:93-106
- Kim, Joung-Min and Kaoru Horie(2009) “Intersubjectification and Textual Functions of Japanese *Noda* and Korean *kes-ita*.” In:Yukunori Takubo(ed.) Japanese/Korean Linguistics 16, 279-288:CS LI
- Kim, Seon-Hyo(2002)「현대 국어의 관형어 연구(現代國語の冠形語研究)」서울대학교(ソウル大学)博士論文
- Kwon, Young-hwan(1993)「우리말 도움풀이씨 연구(A)study on auxiliary verbs in Korean)」부산대학교(プサン大学)修士論文
- Park, Naree(2014)「한국어의 ‘자기인용구문’에 대하여(“A study on ‘a Self-Quoted Phrase.”)」『언어와 정보사회(言語と情報社会)』 23:1-31
- Park, Naree(2014)「담화화용 및 텍스트 관점에서 본 한국어의 ‘자기인용구문’(A Self-quoted Perspective of Discourse Pragmatic and Textual Levels)」『텍스트언어학(テキスト言語学)』 37:65-96
- Rhee, Sung-Ha(1998)『문법화의 이해(文法化の理解)』 한국문화사(韓国文化社)
- Wang, Mun-yong(1988)『근대 국어의 의존명사 연구(近代國語の依存名詞研究)』 한샘(ハンセム)
- Woo, Hyeongsik(2006)「한국어 의존명사의 분포와 의미 기능 분석- ‘바’의 경우를 중심으로-(韓国語依存名詞の分包と意味機能の分析-バの場合を中心に-)」『(동북화 문화 연구)東北亜文化研究』 11:269-290